

小規模多機能型居宅介護「2022年度サービス評価」 総括表

法人名	協同福祉会	代表者	村城 正	法人・事業所の特徴	住み慣れた地域で、安心して元気に暮らすことを支援します。まわりにはたくさんの緑・木々もあり、自然に囲まれた環境の良い施設です。 あすならでは「10の基本ケア」を実践する事で、利用者に「普通の暮らし」を取り戻してほしいと考えており、お年寄りを寝たきりにさせない介護へ繋げています。					
事業所名	あすならホーム櫻本	管理者	喜多 祥継							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	3人	2人	0人	1人	0人	12人	人	18人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規利用の方の情報共有を紙ベースで回覧し情報共有を行う</li> <li>当日の情報共有をホワイトボードに記入し伝達する</li> <li>会議の中で情報交換を行う場をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規利用者の情報は紙ベースと電子媒体での共有出来ていた。</li> <li>ホワイトボードの活用も定着し情報の共有はスムーズになった。</li> <li>細かな部分での抜けはあるので改善課題とする。</li> <li>毎月の内部開催と朝礼・昼礼の定着が進み情報交換の場として活用出来ている。</li> </ul>	<p>周りから見ると頑張って取り組んでおられる部分もありますが、利用者一人一人への支援、地域と共に活動していくという部分にあまり出来ていないやほとんどできていないという評価がありもつともっと出来る事があると向上心をお持ちのスタッフが多くいると感じました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員を入れ替わる事があるので改善計画を事業所に貼り出し意識を持てるようにします。</li> <li>情報共有でホワイトボードのルールを決めて運用します。</li> <li>言葉遣いや気遣いをと年寄り、職員間でも意識して関わる。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいサロンの活用を、コロナ感染症対策を踏まえて検討していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事サロンの再開はまだ出来ていないが、100歳体操の活用と移動店舗との連携が出来貢献活動の再開に向け行動出来た。</li> </ul>	<p>環境を整えながらますます地域の方々にとって居心地の良い事業所環境にしていただければと期待しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>から見て入りやすい雰囲気が伝わるように花を植えます。また、利用者が外に出ていけるように入口周辺の環境を整理します。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の民生委員さんや地域の方との関りを深めていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶等の顔合わせは出来ているが深めるまでは出来ていない。</li> </ul>	<p>地域の方々に心を寄せていただける集まっていただけるような事業所になってきていると思いますのでこれからも同じ姿勢で継続いただければと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>100歳体操の継続をします。</li> <li>あすならサロンを再開し集える場を作ります。</li> <li>買い物バスをニーズに合わせて運行します。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の広報誌を利用者・職員に回覧する</li> <li>イベントがある時に参加する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>22年度は在原神社の清掃活動等に参加する事が出来た。</li> </ul>	<p>コロナ後の状況に合わせて、地域へ出向く機会も増やしていただけるだろうと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の方とのつながりで、挨拶をして関係性を繋いでいきます。</li> <li>つながりマップを再開し、控えていた訪問での安否確認を再開します。</li> <li>地域イベントに参加します。</li> </ul>

E. 運営推進会議を活かした取組み	引き続き書面でのやり取りをしながら情報発信を行い、情報収集に務める	引き続き書面でのやり取りをしながら情報発信を行い、情報収集に務める 23年度は情勢を見ながら従来の集合会議を目指す。	現状では会議開催は難しい状況だと思いますが、何か協力できることがあれば実践させていただきますのでまたお声掛けください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンを情報発信の場として活用しつながり、消防、防災、防犯資料などが見れるようにしていきたと思います。</li> <li>・現場の職員が交代で運営推進会議へ参加します。</li> <li>・ケアの取り組みや看取り等の事例を共有します。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	・消防訓練時に地域の方への参加を呼び掛ける	消防訓練時に地域の方が参加下さった。 23年度はBCPに伴いより具体的な項目で訓練を行っていく。	地域の方々とも一緒に防災について検討する必要があると思っています。事業所にもご協力いただきながら話合える機会が持てるようになっていきたいと考えていますのでその時にはぜひご協力ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防訓練の開催案内と地域の方の参加を促します。</li> <li>・救命研修に参加します。</li> <li>・炊き出し訓練で地域の方にも協力していただき、訓練を行います。</li> </ul>

